

## 事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 大分県九重町教育委員会
2. 研究主題 : 魅力ある学校統合事例の創出（2年次）
3. 研究タイトル : 1町1中学における地域との連携の在り方と  
小中連携に係る効果的なコミュニティ・スクールの導入について
4. 研究課題 : (研究課題1)  
○1町1中学校において地域との効果的な連携はどうあるべきか。  
(具体的目標)  
◇熟議を通して4地区の「町づくり協議会」と連携するために具体的な方策を探る。  
◇地域の担い手を育成するために4地区の公民館主事と連携し、町づくりに中学生が参加するための具体的な方法を探る。
- (研究課題2)  
○小中学校が連携して取り組む「このえ学園」推進におけるコミュニティ・スクールはどうあるべきか。  
(具体的目標)  
◇「このえ学園」における効果的なコミュニティ・スクールの導入を目指す。  
◇小中が連携して設置するコミュニティ・スクールの具体的な方法を探る。

### 5. 事業の実績

#### (1) 調査研究のねらい

九重町の教育関係施設を1つの学園と捉え、すべて教育機関の連携はもとより保護者・地域が一体となって教育を推進することを目的とした「このえ学園基本計画」に基づく取組の推進と、その取組において1中学校6小学校全体でコミュニティ・スクールを導入するにあたり4つ公民館と4地区まちづくり協議会と連携するにはどのような方法が最適であるのかを実践的に取り組んだ。

#### (2) 調査研究の実施状況（平成30年度）

	このえ緑陽中学校学校運営協議会の取組	このえ学園の取組
4月		
5月		
6月		
7月	・第2回このえ緑陽中学校学校運営協議会	
8月	・第3回このえ緑陽中学校学校運営協議会	
9月		・第1回このえ学園運営委員会
10月		・第1回このえ学園評価委員会
11月	・第3回このえ緑陽中学校学校運営協議会役員会	・九重町コミュニティ・スクール研修会
12月	・第4回このえ緑陽中学校学校運営協議会	・地域とともにある学校づくり推進フォーラム（東京会場）参加
1月		・第3回九重町教職員全員研修会
2月	・このえ緑陽中学校学校運営協議会と町3役等との意見交換会 ・第5回このえ緑陽中学校学校運営協議会	・第2回このえ学園評価委員会及びこのえ学園コミュニティ・スクール推進会議 ・第2回このえ学園運営委員会 ・コミュニティ・スクール校長研修会
3月		・報告書等の作成

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

<p>◇このえ学園学校運営協議会設置に向けて推進できた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○複数設置規則(案)の作成(4月教育委員会で承認予定)。</li><li>○このえ小学校運営協議会の設置(5月設置予定)。</li><li>○各種研修を通して、教職員の意識改革が進んだ。</li></ul>
<p>◇このえ緑陽中学校運営協議会の取組の推進ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○地域イベントへのボランティア参加</li><li>○防災士会研修への参加</li><li>○地域美化活動の実施</li><li>○このえ緑陽中学校保護者へのアンケート実施とまちづくり協議会への聞き取りの実施(保護者アンケート)</li><li>・生徒の地域への興味関心(60%) ・地域と学校が一体となった学校づくり(63%)</li><li>・地域の一員として自覚の高まり(56%) ・学校への支援(50%) ・地域間の連携(40%)</li><li>コミュニティ・スクールの取組について、高く評価している意見も多くあったが、課題としては</li><li>・ボランティアへの参加が意識の高まりに結びついていない。 ・日常的な行動に結びついていない。</li><li>・学校以外で行動として見られない。 ・親が地域の一員として動く姿を見せないで子どもたちに意識を高めさせるのは難しい。 ・コミュニティ・スクール自体の取組や意義が理解できていないために、回答できない。 ・取組自体を知らなかった。</li><li>(まちづくり協議会の事務局に聞き取り)</li><li>・中学生がボランティアに参加してくれたことで行事が盛り上がった。 ・実行委員も中学生との交流も楽しみにしている。 ・小学校ではよく見かけていた子どもに久しぶりに会ったことで、成長していることが嬉しい。 ・非常に良い取り組みなので今後も継続してほしい。</li><li>・ボランティア活動で怪我をしたときの保障が心配である。保険を教育委員会で考えてほしい。</li><li>・ボランティアの要請をする場合、誰と連絡を取ればよいかわからなかった。 ・事前に参加人数などの打ち合わせができると良かった。</li></ul>
<p>公民館単位で熟議を開催する予定であったが、4公民館中3公民館の主事が人事異動で替わったことから、公民館との連携の構築を再度行った。このえ学や地域教材作成のための研究主任会に公民館主事に参加してもらったことで、次年度以降の取組の確認ができた。</p> <p>また、このえ緑陽中学校運営協議会と町3役等との意見交換で、学校運営協議会の取組の共有ができた。また、9年間を見通した「このえ学」が、地域の一員として参加するといった中学生のボランティア意識を高めることに有効であるといったことも確認できた。よって今後は、「このえ学」をベースにした連携体制を構築することが大切である。</p>

(2) 成果物等

ここのえ学園概要版（保護者用）  
報告書

(3) 今後の取組予定

- ここのえ小学校運営協議会の設置と小中合同協議会の実施。
- ここのえ学園運営協議会設置（ここのえ小学校運営協議会とここのえ緑陽中学校運営協議会の統合）に向けた研究
- ここのえ学（地域学習）と公民館・まちづくり協議会との推進体制の構築